

kanawada

VOL.121

鐵輪 宮崎精鋼株式会社 名古屋市中川区丸米町一丁目1番地 ☎052-361-2191 平成31年2月号

社長年頭挨拶

「新年あけましておめでとうございます。今年の正月は気温こそ低かったものの好天で穏やかな正月だったように思います。皆さんそれぞれに良いお休みを過ごされたことと思います。2019年のスタートにあたり、一言あいさつ申し上げます。

2018年を振り返ると、非常に災害・天候異常の多い年であったかと思えます。西日本豪雨、熊谷での最高気温更新『41.1℃』、名古屋でも40℃超えを観測しました。そして台風21号・24号による関西地方を中心とした被害などがありました。被災された方々には、1日でも早い復興・回復を心よりお祈り致します。

又、地震も大阪北部地震、北海道胆振東部地震、1月3日には熊本・和水町（なごみまち）を震源とする地震が発生し自然災害の多い状況です。会社の方でもBCP活動をしています。しっかりと備えをさらに進めて参りたいと思います。

さて、鉄鋼業界の2018年を振り返ると、自動車産業の好調に支えられ世界的に鉄鋼需要は底堅く良好に推移しました。当社も2007年のリーマンショック前に匹敵する高水準の生産・販売で、また業績としても右肩上りの状態で各工場での改善活動、設備投資を実施することが出来ました。

一方、今年の鉄鋼を取り巻く環境を考えると、一般的には緩やかな回復・堅調な推移と言われていますが、米中貿易摩擦・イギリスのEU離脱問題（ブレグジット）、国内では10月の消費税増税による個人消費の冷え込みなど不安要素も多い状況となっています。

そんな中では、当社の2019年の基本方針は、CGF80の最終年度として3つの項目をしっかりと実施してもらうことです。

- ①モノづくりの基本を守ること
- ②競争力を高める中でのAI、IOT、自動化の展開
- ③皆さんがそれぞれ主体性を持って行動する

①では、昨年大手自動車メーカーの検査データや、免震装置のデータ改ざんによって大きな損失が発生しました。我々メーカーとしては他人事ではなく、各位・各工程で自工程完結させるようお願いいたします。

②では、【安全に、良いものを、安く】お客様に提供することは永遠の課題であり、これに愚直に取り組んでいきたいと思えます。そんな中では、主要設備の自動化、システム化、AI/IOTを活用しながら、故障することなく安定・効率的な生産につなげていきましょう。

③では、それぞれ皆さんが『自分が責任を持って、オレが・私がやるんだ』という気持ちをもって仕事に取り組んでもらえたらと思えます。上司の指示待ちではなく、自分から意見を出しながら実行しましょう。

最後になりますが、宮崎精鋼80周年を迎え新しい経営メンバーとなりました。宮崎の精神、文化は大切にしつつ、一方で自らが『Change・変化』することで会社として人として皆さんと共に持続的な成長をしていけたらと思えます。皆さんで今年も良い一年にいきましょう。」



年頭挨拶の様子

